

宇部高専創立50周年記念事業

## 資料展示室の開設

宇部日報：平成24年10月2日（火）記事

# 宇部高専 研究成果、部活の記録 50周年 記念 5日に資料展示室開設

宇部高専（福政修校長）は、今年で創立50周年を迎えたのを記念して5日から同校内に資料展示室を開設する。学生が卒業研究で取り組んだギター演奏ロボットをはじめ、学生と教職員の研究成果、輝かしい部活動の

記録など、同校の半世紀の足跡を伝える貴重な資料を展示する。同校は1962年4月に開校。資料展示室は、学生と教職員の内外の活動や成果を収集、保管、顕彰することによって散逸するのを防ぎ、伝統と歴史を後世に伝

えようとするもの。金田昭久室長らが委員会を組織して、卒業生や教職員OBに資料の提供を呼び掛けた。展示室は、本館2階に設置。初期の学生の成績表やノート、テスト、卒業研究や実習に使った物品類、教員の講義ノートや研究成果、著作、部活の成果など約40点を展示している。

中でも制御情報工学科の学生が卒業研究で取り組んだギター演奏ロボットは、96年から2000年までに5回、先輩の作品を後輩が改良を加える形で製作。コンピューター制御で左手が弦を押さえ、右手がつまびいて「神田川」など30曲を演奏する。第5回ロボットグランプリ（日本機械学会主催）の大道

芸競技部門で優勝した。指導した杉本信行教授は「ものづくり教育の原点を感じてもらえれば」と話す。展示は、随時入れ替える。5日に開所式を行った後、学外者の見学を受け入れる。ギター演奏ロボットの実演もある。

金田室長は「宇部高専の流れを知っていた方がいい。5年後、10年後のより充実した資料室の最初のサンプルとしたい」と話した。問い合わせは総務課（電話35-5004）。（佐野）

ギター演奏ロボットと杉本教授（宇部高専の資料展示室で）

